

## 公人の対義語は何？

私のまわりの多くの人達は「政治家が嫌い」と言います。みんなの言っている事が本当であれば、嫌いな政治家達で構成されている社会が現在の社会です。私の望む社会は「子供達の多くが政治家になりたい！」と願う社会です。以前発行したvol.3「政治家に最も大切な心構え」では、政治家側の問題を述べました。しかし、現状の問題は、政治家側だけの問題なのででしょうか。私は「多くの人達が、無意識に持っている考え方にも問題がある。」と考えています。「公人」という言葉があります。意味は「公職にある人。議員、公務員等」です。そして「公人」の対義語は「一般人」（若しくは私人）です。「公人はプライバシーに制約を受ける。」「公人は影響力があるので、軽々しい発言をしてはいけない。」等、特有の制限は理解できます。その上で、私は公人という言葉が嫌いです。嫌いな理由は2点あります。①「政治家は公人であり、一般人と対極である。そのため、一般人とは真逆の人達が政治を行い、一般人の人達が望む政治を行えていない。」という仮説を持っているからです。②公人は一般人よりもランクが高いと認識する方がいます。それにより、「公人と一般人の乖離がすすんでしまい、ネット等で無用な軋轢が生まれている。」という仮説を持っているからです。

このままでは、駄目なんです。では、公人ではない、一般人の議員とはどのような議員でしょうか。私の理想を述べます。「住む街が大好きでそれを中心に考える議員。肩肘はらずに自然体で、親近感があり、普段の生活の一部として活動を行える議員。そして『そんな議員は市川市を良くするために何ができるのか？』と常に自問自答を行う議員。」そんな議員なら私も応援してみたい。そんな議員なら自分もなってみよう。そう考えています。権威なんていりません。こんな議員達で構成される社会は、多くの人々が「政治家が嫌い！」という社会とは別の、ほんの少しだけ良くなっている社会です。これが私が実現したい社会です。賛否両論あるのは承知です。でも、少しの意識改革と意思表示が集まっていけば、良い社会、街が形成されると信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成23年2月3日

増田好秀